令和７年度　指定管理者年度評価シート

１　公の施設の基本情報

施設名称	千葉市都市緑化植物園
条例上の設置目的	都市公園法に基づく都市公園施設
ビジョン （施設の目的・目指すべき方向性）	多くの市民に緑の大切さを伝え、緑化や緑の保全に対する意識の普及・啓発、人材育成を図るとともに、緑を仲立ちとする地域コミュニティの核として機能する。
ミッション （施設の社会的使命や役割）	①植物の育て方や管理方法など、市民の日常的な緑化活動に対する指導や相談を行うこと。 ②緑化植物の展示や講習会などを通じて緑化活動や植物に対する学習の場を提供すること。 ③緑を仲立ちとしたコミュニティ活動を促進するため、緑に関するボランティア活動の場を提供すること。 ④四季折々の植物の姿が楽しめる見本園や園地を開放し、屋外レクリエーションの場を提供すること。
制度導入により見込まれる効果	本施設では、指定管理者制度導入による市民サービスの向上により、施設利用者の満足度を向上させる効果及び管理経費の縮減効果を見込んでいる。
成果指標※	①　講習室利用者数 ②　受託事業の講座参加率 ③　ボランティア活動の団体数
数値目標※	①　７，９００人／年　以上 ②　平均８７％　以上 ③　１０団体　以上
所管課	都市局公園緑地部公園管理課

※　成果指標及び数値目標は、選定時に設定したものである。

２　指定管理者の基本情報

指定管理者名	株式会社日比谷アメニス東関東支店
構成団体 （共同事業体の場合）	
主たる事業所の所在地 （代表団体）	千葉市稲毛区轟町５丁目７番３２号
指定期間	令和３年４月１日～令和８年３月３１日（５年）
選定方法	公募
非公募理由	
管理運営費の財源	指定管理料及び利用料金収入

３　管理運営の成果・実績

（１）成果指標に係る数値目標の達成状況

成果指標	数値目標※	令和７年度実績	達成率※
講習室利用者数	７，９００人／年　以上 （７,７００人／年　以上）	５，６２０人	７１．１％ （７３．０％）
受託事業の講座参加率	平均８７％　以上 （平均８５％　以上）	８３．０％	９５．４％ （９７．６％）
ボランティア活動の団体数	１０団体　以上 （９団体　以上）	８団体	８０．０％ （８８．９％）

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

（２）その他利用状況を示す指標

指　標	令和７年度実績
緑化活動に対する指導や相談を行う日数（３００日／年）	３０７日（１０２．３％）
市民参加型イベントの開催 （４回／年）	４回（１００．０％）

4　収支状況

（1）必須業務収支状況

ア　収入

（単位：千円）

費　目		令和７年度	【参考】令和６年度	計画実績差異・要因分析		
				差異		主な要因
指定管理料	実績	48,500	48,500	実績－計画	0	
	計画	48,500	48,500	計画－提案	0	
	提案	48,500	48,500			
利用料金収入	実績	117	116	実績－計画	△ 11	
	計画	128	175	計画－提案	△ 188	
	提案	316	301			
その他収入	実績	35	28	実績－計画	11	
	計画	24	20	計画－提案	24	
	提案	0	0			
合計	実績	48,652	48,644	実績－計画	0	
	計画	48,652	48,695	計画－提案	△ 164	
	提案	48,816	48,801			

イ　支出

（単位：千円）

費　目		令和７年度	【参考】令和６年度	計画実績差異・要因分析		
				差異		主な要因
人件費	実績	27,508	23,676	実績－計画	2,573	みどりの相談員に係る費用を人件費として、計上したため。
	計画	24,935	25,462	計画－提案	△ 1,210	園地管理業務について、当初計画していた直接雇用スタッフではなく委託スタッフにより実施したため
	提案	26,145	26,145			
事務費	実績	13,386	15,219	実績－計画	△ 1,059	光熱費の節減に努めたことに加え、消耗品費が当初計画を下回ったため。
	計画	14,445	14,928	計画－提案	△ 3,650	園地管理用品、その他備品が提案時より充実していたため
	提案	18,095	18,080			
管理費	実績			実績－計画		
	計画			計画－提案		
	提案					
委託費	実績	7,705	9,629	実績－計画	△ 1,557	みどりの相談員に係る費用を人件費として、計上したため。
	計画	9,262	8,295	計画－提案	4,686	当初計画していた直接雇用スタッフではなく委託スタッフにより実施したことに加え、人件費および物価の上昇により増加したため。
	提案	4,576	4,576			
その他事業費	実績	0	0	実績－計画	△ 10	
	計画	10	10	計画－提案	10	
	提案	0	0			
間接費	実績	0	0	実績－計画	0	
	計画	0	0	計画－提案	0	
	提案	0	0			
合計	実績	48,599	48,524	実績－計画	△ 53	
	計画	48,652	48,695	計画－提案	△ 164	
	提案	48,816	48,801			

※「計画」とは、事業年度ごとの事業計画書で定めた計画額を示す。

「提案」とは、選定時の提案書、事業計画書で指定管理者が提案した見積額を示す。

間接費の配賦基準・算定根拠

（２）自主事業収支状況

ア　収入

（単位：千円）

費　目		令和７年度	【参考】令和６年度
自主事業収入	実績	1,478	1,552
その他収入	実績	0	0
合計	実績	1,478	1,552

イ　支出

（単位：千円）

費　目		令和７年度	【参考】令和６年度
人件費	実績	342	337
事務費	実績	553	523
管理費	実績	0	0
委託費	実績	0	0
使用料	実績	21	17
事業費	実績	721	721
利用料金	実績	59	63
その他事業費	実績	0	0
間接費	実績	0	0
合計	実績	1,696	1,661

間接費の配賦基準・算定根拠

（３）収支状況

（単位：千円）

		令和７年度	【参考】令和６年度
必須業務	収入合計	48,652	48,644
	支出合計	48,599	48,524
	収　支	53	120
自主事業	収入合計	1,478	1,552
	支出合計	1,696	1,661
	収　支	△ 218	△ 109
総収入		50,130	50,196
総支出		50,295	50,185
収　支		△ 165	11
利益の還元額		0	0
利益還元の内容		なし	なし

５　管理運営状況の評価

（１）管理運営による成果・実績（成果指標の目標達成状況）

評価項目	市の評価	特記事項
講習室利用者数 7,900人（7,700人）以上	D	達成率　７１．１％（７３．０％）
受託事業の講座参加率 87%（85%）以上	C	達成率　９５．４％（９７．６％）
ボランティア活動の団体数 10団体（9団体）以上	C	達成率　８０．０％（８８．９％）

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。
Ａ：成果指標が市設定の数値目標の１２０％以上（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はＢとする。）
Ｂ：成果指標が市設定の数値目標の１０５％以上１２０％未満（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はＣとする。）
Ｃ：成果指標が市設定の数値目標の８５％以上１０５％未満
Ｄ：成果指標が市設定の数値目標の６０％以上８５％未満
Ｅ：成果指標が市設定の数値目標の６０％未満

（２）市の施設管理経費縮減への寄与

評価項目	市の評価	特記事項
市の指定管理料支出の削減	C	

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。
Ａ：選定時の提案額から１０％以上の削減
Ｂ：選定時の提案額から５％以上１０％未満の削減
Ｃ：選定時の提案額と同額又は５％未満の削減
（Ｄ・Ｅ：選定時の提案額を超える支出を行うことはないため、該当なし）
－：対象外（市の指定管理料支出がない。）

（３）管理運営の履行状況

評価項目	自己評価	市の評価	特記事項
１　市民の平等利用の確保・施設の適正管理			
市民の平等利用の確保	B	C	（指定管理業者） ① 定員を超える応募があった「みどりの教室」については、厳正な抽選（ランダム関数）を実施するとともに、結果を速やかに通知し、苦情等のない公平な運用を行った。 ② ホームページ上で講習室の「空き情報カレンダー」を6か月先まで公開するとともに、園内のバリアフリーマップを配架し、利用機会の確保および利用者への情報提供に努めた。 ③ 個人情報保護や金銭管理等について社内規程に基づく運用を行うとともに、本社による内部監査を実施し、指摘事項なく適正な管理運営を確認した。 ④ 日常巡回や安全パトロールを実施し、危険箇所の早期発見および対応に努めるとともに、事故・災害等の緊急時に備えた連絡体制の維持・確認を行った。
関係法令等の遵守			
リスク管理・緊急時対応			
２　施設管理能力			
（１）人的組織体制の充実	B	C	（指定管理業者） ① 専門相談員として、樹木医および森林インストラクターの有資格者を3名配置した。また、園長には上級救命講習修了者および甲種・乙種防火管理者の資格保有者を配置するとともに、1級造園施工管理技士および1級土木施工管理技士の資格を有する当部署の部長から、必要に応じて助言・指導を受けられる体制を整備している。 ② 1月20日に職員を対象としたPPPスタッフ研修を実施し、クレーム対応、カスタマーハラスメント対策、環境方針、安全管理等について学ぶことで、職員の能力向上を図った。また、職員の資格取得を支援するスキルアップ制度を運用している。
管理運営の執行体制			
必要な専門職員の配置			
従業員の能力向上			
（２）施設の維持管理業務	B	B	（指定管理業者） ① 樹木台帳の管理・更新を継続するとともに、1月14日に樹木医による樹木診断を実施した。診断結果を踏まえ、枯死が確認され倒木の恐れがある樹木については、3月9日の休園日に伐採を実施し、安全確保を図った。 ② 園内の良好な環境維持のため、園路等のブロワー清掃、みどりの相談所内清掃、屋外トイレ清掃、温室清掃等を日常的に実施した。 ③ 集めた落葉については、堆肥化を目的として堆積所で管理するとともに、一部は適切に場外処分を行い、園内環境の維持に努めた。 ④ 設備・備品について定期的な点検を実施し、不具合箇所の早期発見および修繕に努めた。 （市） 枯損木の早期発見・伐採を行い安全管理に努めた。また、環境への配慮として、落葉などの植物性発生材を堆肥化し、園内に散布するなど有効活用を図った。
施設の保守管理			
設備・備品の管理・清掃・警備等			
３　施設の効用の発揮			
（１）幅広い施設利用の確保	B	B	（指定管理業者） ① 来園者が集中する4月26日から5月11日までの土日祝日および秋のバラ展（11月8日～9日）開催期間中は、駐車場周辺の安全確保および円滑な車両誘導のため、誘導員を配置した。 ② FacebookやInstagramを活用し、講座・教室・展示会等の情報を発信するとともに、開花情報や見どころをタイムリーに発信し、施設の利用促進に努めた。 ③ テレビ、新聞、情報誌等の取材に積極的に対応し、植物園の魅力や事業内容を広く発信することで、利用促進に努めた。 （市） SNSや各種広報媒体を活用することで幅広い広報を行うとともに、取材対応も積極的に行った。
開館時間・休館日			
利用料金設定・減免			
利用促進の方策			
（２）利用者サービスの充実	A	B	（指定管理業者） ① 来園者アンケートを実施するとともに、いただいたご意見・ご要望およびそれに対する回答をホームページで公表し、利用者ニーズの把握とサービス向上に努めた。 ② 休園日を除き受付担当スタッフを3名以上配置し、来園者への案内や問い合わせに迅速に対応した。また、車いす2台およびバリアフリーマップを常備し、誰もが利用しやすい環境整備に努めた。 ③ ホームページに講習室の予約方法や空き情報（6か月先まで）を掲載するとともに、園内利用届のダウンロード機能やロケーション撮影に関する申請案内を整備し、利用者の利便性向上を図った。 ④ ホームページに公共交通機関利用時の案内を掲載し、千葉
利用者への支援			

	利用者意見聴取・自己モニタリング			駅・蘇我駅からのバス時刻やアクセス方法を分かりやすく案内することで、施設利用の促進に努めた。 ⑤ 酷暑対策としてクールスポット施設としてホールおよび講習室を開放し、来園者の熱中症対策と快適な利用環境の確保に努めた。 ⑥ 園内にボランティア活動の案内看板を設置し、市民への周知を図ることで、ボランティア活動への理解促進および参加促進に努めた。 （市） 電動車いすの貸出しやバリアフリーマップを常備し、歩行に困難のある利用者でも利用しやすい環境を整えた。
（３）施設における事業の実施				
	施設の事業の効果的な実施	B	B	（指定管理業者） ① 七夕飾り、クリスマスツリー、お雛様飾りなど季節に応じた展示を実施し、来園者が親しみやすい施設づくりに努めた。 ② 季節の見ごろマップや開花情報を掲示するとともに、講座案内等の情報発信を行い、植物への関心喚起および施設利用の促進を図った。 ③ 音声ガイド付き樹名札（QRコード対応）を175枚設置したほか、全国の樹木の葉をまとめた標本冊子を展示し、植物に関する学習機会の充実を図った。 ④ 春・秋のバラ展においてキッチンカーを出店し、来園者サービスの向上および施設の魅力向上に努めた。 ⑤ みどりの相談所の図書コーナーをリニューアルするとともに、折り紙やぬりえを常設し、子どもから大人まで気軽に利用できる環境づくりを行った。 （市） バラ展の際にキッチンカーを導入するなど、来園者の満足度向上に努めた。
	自主事業の効果的な実施			
４　その他				
	市内業者の育成	B	C	（指定管理業者） ① 修繕や設備保守等の外部委託については、市内業者を優先的に活用し、地域経済の活性化に努めた。また、備品購入についても市内業者を優先して実施した。 ② スタッフ、みどりの相談員および園地管理従事者14名のうち9名を市内在住者とし、市内雇用の推進に努めた。 ③ 障害者1名を事務所スタッフとして継続雇用し、安定した就労環境の確保に努めた。 ④ みどりの相談所の図書コーナーをリニューアルし、絵本や海外庭園に関する書籍を新たに導入することで、幅広い世代が利用しやすい環境を整備した。また、全国の樹木の葉をまとめた標本冊子を展示し、植物に関する学習機会の充実を図った。 ⑤ ホームページに園内利用届や各種申請手続きに関する案内、書類ダウンロード機能を整備し、利用者が円滑に施設利用の手続きを行える環境を構築した。
	市内雇用への配慮			
	障害者雇用の確保			
	施設職員の雇用の安定化への配慮			
	従前を上回る市民サービスの提供や新規来園者の増加につながるプロモーション効果が期待できる提案			

【評価の内容】
Ａ：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
Ｂ：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回るなど、優れた管理運営が行われていた。
Ｃ：概ね管理運営の基準・事業計画書等に定める水準どおりに管理運営が行われていた。
Ｄ：一部、管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、改善の余地がある管理運営が行われていた。
Ｅ：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

（4）都市局指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応

意見の内容	意見対象年度	対応・改善の内容
今後の施設の効果的な運営や価値向上の観点から、施設利用者数の実態把握のあり方について研究されたい。	R7	施設利用者数の実態把握に向け、講座参加者数やイベント参加者数、団体利用者数等の集計を継続して実施した。また、利用者アンケートの回収強化に努め、利用実態や利用者ニーズの把握を行った。今後もより効果的な利用者数把握の手法について調査・研究を進めていく。
新たなファンを増やすことでボランティアの担い手を確保されるとともに、地域に根ざした施設となるよう地域との連携を深められるほか、大学との連携によるブランディングなど、地域資源を活かした工夫ある取組みを進められたい。	R7	ボランティア活動の周知を目的として園内に案内看板を設置し、活動への理解促進および参加者の確保に努めた。また、SNSやホームページを活用した情報発信により、新たな来園者の獲得に取り組んだ。さらに、近隣中学校と千葉開府900年関連事業に向けた打合せを実施し、地域と連携した取組みを進めている。

6　利用者ニーズ・満足度等の把握

（1）指定管理者が行ったアンケート調査

実施内容	調査方法	常設アンケート（回収箇所2ヵ所）：回答407件 各講座・教室アンケート（36回）：回答529件 月次報告書にて市へ報告。翌月利用者アンケートに対する回答書をホール内掲示。 質問項目は下記の通り。
	回答者数	
	質問項目	

◆常設アンケート
【性別】男性32.9%、女性62.4%、無回答4.7%
【年代】10代未満 3.1%、10代 3.7%、20代 3.4%、30代6.4%、40代 8.3%、50代18.9%、
60代23.0%、70代21.9%、80代 5.9%、無回答5.4%
【頻度】週1～2回3.3%、月1～2回19.2%、年1～2回26.1%、年5回以上18.2%、初めて24.2%、その他3.8%、無回答5.2%
【住居】中央区29.2%、美浜区4.4%、花見川区2.9%、稲毛区9.3%、若葉区12.0%、緑区6.9%、
千葉県内17.4%、千葉県外 3.2%、無回答14.5%
【どなたと来園したか：】1人で34.5%、友人12.9%、家族で40.6%、サークル等の集まり1.0%、その他1.5%、
無回答9.5%
【交通手段】電車・バス 6.6%、自動車76.9%、自転車4.9%、徒歩6.4%、その他0.7%、無回答4.4%

【利用方法のＰＲ】	大いに満足16.7%、満足53.8%、不満9.3%、極めて不満0.5%、無回答19.7%
【利用できる時間帯】	大いに満足22.4%、満足56.0%、不満1.0%、極めて不満0.5%、無回答20.1%
【施設への来やすさ】	大いに満足21.1%、満足46.9%、不満9.8%、極めて不満1.7%、無回答20.4%
【利用のしやすさ】	大いに満足29.2%、満足48.9%、不満2.5%、極めて不満0.0%、無回答19.4%
【案内のわかりやすさ】	大いに満足23.8%、満足50.4%、不満5.2%、極めて不満0.2%、無回答20.4%
【植栽の管理状況】	大いに満足32.2%、満足46.4%、不満2.0%、極めて不満0.5%、無回答18.9%
【施設の清掃状況】	大いに満足29.7%、満足48.6%、不満1.2%、極めて不満0.2%、無回答20.1%
【トイレの清掃状況】	大いに満足23.6%、満足45.7%、不満3.2%、極めて不満1.0%、無回答26.5%
【職員の対応の親切さ】	大いに満足36.1%、満足37.8%、不満1.0%、極めて不満0.2%、無回答24.8%
【職員の説明のわかりやすさ】	大いに満足32.2%、満足39.3%、不満1.2%、極めて不満0.0%、無回答27.3%
【全般的な満足度】	大いに満足38.8%、満足34.2%、不満1.0%、極めて不満0.0%、無回答26.0%

受託講座（みどりの教室、身近な自然を学ぶ講座、庭園講座）
【講座全体の評価】
とても良かった53.3%、良かった33.3%、普通 4.0%、悪かった 0.0%、とても悪かった 0.0%　無回答 9.3%

（2）市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応

主な意見・苦情	指定管理者の対応
トイレの改修を希望する。清潔な状態を維持してほしい。	トイレ設備については経年による老朽化が見られるが、日常清掃および定期清掃を実施するとともに、毎日の園内巡回時にも状況を確認し、汚れ等が確認された場合は速やかに清掃を行っている。今後も利用者が快適に利用できるよう、清潔な環境の維持に努めていく。
園内で現在地が分かる案内地図を増やしてほしい。また、園内の樹名札を充実してほしい。	園内案内の充実を図るため、案内表示および園内マップについて、設置箇所の増設や内容の更新を進めている。また、園内の樹名札については、未設置箇所への追加や既存表示の更新を随時実施している。今後も利用者が快適に過ごせる園内環境の整備に努めていく。
広報活動により来園者が増加すると、駐車場が満車となり利用しづらくなるため、現状程度の利用者数が望ましい。	駐車場の収容台数には限りがあるため、混雑が予想される時期には誘導員を配置し、安全かつ円滑な運営に努めている。また、催し広場の臨時駐車場としての活用や、近隣中学校の駐車場借用について関係機関と調整を進めるなど、駐車場不足への対応に取り組んでいる。

7　総括

（1）指定管理者による自己評価

総括評価	B	所見	市民の平等利用の確保においては、受託講座「みどりの教室」の抽選を厳正に実施するとともに、講習室の空き情報をホームページ上で公開し、利用機会の公平性および透明性の確保に努めた。また、バリアフリーマップや車いすを常備するなど、高齢者や障害のある方を含めた誰もが利用しやすい環境整備を継続した。 施設管理においては、日常的な園内巡回や清掃業務を適切に実施するとともに、樹木医による樹木診断を実施し、危険木の伐採など必要な安全対策を講じた。また、本社による内部監査や職員研修を実施し、法令遵守およびリスク管理の徹底を図った。 利用者サービスの向上においては、アンケート結果および回答内容をホームページで公表し、利用者意見を施設運営に反映できる体制を継続した。さらに、講習室の予約方法や園内利用届のダウンロード機能、ロケーション撮影に関する案内の掲載など、ホームページを活用した利便性向上に取り組んだ。加えて、酷暑時にはクールスポットとして講習室を開放し、利用者の安全確保と快適性向上に努めた。 施設の魅力向上および利用促進においては、ホームページやSNSを活用し、開花情報や講座・展示会情報を積極的に発信した。季節展示やバラ展におけるキッチンカー出店、図書コーナーのリニューアル、全国の樹木の葉の標本展示など、植物園ならではの学習機能および滞在環境の充実を図った。また、音声ガイド付き樹名札の整備を継続し、設置枚数の拡充を図ることで、植物園の教育・普及機能の向上に努めた。 地域貢献の面では、市内業者を優先した発注、市内在住者の雇用、障害者雇用の継続に加え、星久喜中学校避難所運営委員会へ参加し、地域の防災体制強化に協力した。11月には避難所開設訓練に参加し、避難設備の確認や想定される課題について意見交換を行うなど、地域と連携した防災活動に取り組んだ。 ボランティア活動においては、展示会開催時に新聞社等の外部取材を受け、活動内容や植物園の魅力を広く発信した。これにより、来園促進やボランティア活動への理解向上につながるとともに、既存会員の活動意欲の向上および新規会員の確保に努めた。 今後も利用者ニーズの把握に努めるとともに、来園者の安全・安心の確保とサービス向上を図りながら、植物園の魅力を積極的に発信し、市民に親しまれる施設運営を継続していきたい。

（2）市による評価

総括評価	B	所見	園長や相談員には造園施工管理技士などの有資格者を配置することで、適切な植栽・施設管理を行った。植栽管理では、樹木医による定期検診や樹木台帳を活用した管理を行うことで、利用者へのアンケート調査においても高評価を得ている。また、枯死が確認され倒木の恐れがある樹木については、発見後、速やかに伐採作業を実施するなど、安全面への意識も高い管理を行っている。施設管理では、木製野外卓などの修繕を行い、利用者の安全確保に注力した。 また、SNSや各種広告媒体を活用するなど積極的なPRを実施したことや、音声ガイド付き樹名札を活用した体験型イベントを含め、各種市民参加型イベントを開催するなどの利用促進策を実施したことが、外部メディアから紹介されることにつながった。これにより来園者への周知のみならず、参画するボランティア団体の会員のモチベーション向上にも資することとなり、ボランティア団体への新規会員募集につながったといった成果をあげていることは高く評価する。

【評価の内容】
A：市が指定管理者に求める水準等を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
B：市が指定管理者に求める水準等を上回る、優れた管理運営が行われていた。
C：概ね市が指定管理者に求める水準等に則した、良好な管理運営が行われていた。
D：管理運営の一部において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、改善の余地のある管理運営が行われていた。
E：管理運営全般において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

＜参考＞

成果指標等の令和6年度実績の算定根拠

指標	根拠
講習室利用者数	令和7年度事業報告書p.5「ア利用者数」に記載のとおり
受託事業の講座参加率	受託講座（「みどりの教室」「身近な自然を学ぶ講座」「庭園講座」）の参加人数及び定員より算出 みどりの教室　　：参加人数152人、定員180人（20人×9回） 身近な自然を学ぶ講座：参加人数52人、定員60人（15人×4回） 庭園講座　　：参加人数354人、定員432人（18人×8回×3班） 合計：558人（参加人数）／672人（定員）　＝　83.0%（参加率）
ボランティア活動の団体数	令和7年度事業報告書p.69に記載のボランティア団体の数 ※ただし、緑と花の地域リーダー及び里山センターは準ボランティア団体のため、算定団体数からは除外
緑化活動に対する指導や相談を行う日数	令和7年度事業報告書p.13「（1）受託事業みどりの相談実施状況」に記載のとおり
市民参加型イベントの開催	令和7年度事業報告書p.31に記載のイベントの数

（3）都市局指定管理者選定評価委員会の意見
